

BRAIN

DESIGN
COPY
CM
WEB



特集：広告の力で
社会に良いこと!!

クリエイターの
評価制度

\付録/
Web制作会社
ガイド

ブレイン

11

NOVEMBER 2010 VOL.604



← 3KM



2KM →

自然を取り込む
新感覚

青山デザイン会議



篠田太郎



MASSA



HABU



子どもの笑顔で 平和への思いを デザインする

Merry Umbrella Project

バブル景気の最中に数々のヒット広告を飛ばしたアートディレクターの水谷孝次さんは、99年に笑顔の力で世界を元気にする「MERRY PROJECT」をはじめた。世界25カ国、3万人以上の子どもたちの笑顔を撮影、人々にそのパワーを届けてきた。この活動は、広告クリエイターの経験なくしては生まれなかったという。



01

反戦運動から平和活動への転換

「子どもたちの笑顔は未来の希望です。1・2・3!」。掛け声と共に、広島原爆ドームの前で一斉に子どもの笑顔がプリントされた傘が開かれる。見ている人たちの間から、わっと歓声と笑顔がこぼれた。

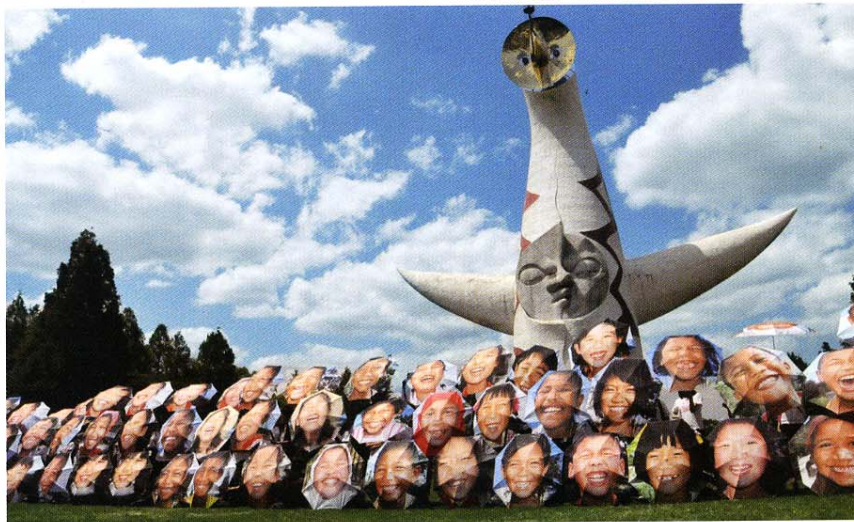
これは、水谷孝次さんが数年前にはじめた「MERRY PROJECT」の新シリーズ、「Merry Umbrella Project」のひとつ。未来への希望を笑顔の傘に乗せ、世界に向けて発信する。戦後65年を迎えた今年「平和」をテーマに据え、8月に広島と長崎、沖縄で立て続けに実施した。



みずたに・こうじ

1951年名古屋生まれ。日本デザインセンターを経て、83年水谷事務所設立。99年より「MERRY PROJECT」を開始。05年愛知万博、08年北京オリンピック、10年上海万博などに招聘される。近著に「デザインが奇跡を起こす」(PHP研究所)がある。

「反戦運動は、関わり方が難しいものです。正しいことはわかっている、どこか重たく、気が進まない。広島の地元の人でさえ、あまり平和公園に足が向かないと言っているほど。それは長崎でも同じことです。ならば、あつけらんとも明るく、みんなで参加できて楽しいイベントを持ち込んだらどうか。今年からは、原爆記念日をネガティブに戦争反対を訴える日でなく、子どもたちの笑顔をいっぱいにするための平和のメッセージを発信する日にしましょう、と提案して実現したのがこのプロジェクトなんです」。



02



03

